

平成23年

6月号

(558号)



広報

かねやま



御神楽岳山開き (記事7ページ)

若

者が暮らしやすい町をめざして

金山町若者定住促進懇談会の取り組みを紹介します



若者の子育てをサポートしています（乳児相談）

町では、若者が暮らしやすい町づくりをめざして、若者定住促進事業を行ってきました。その事業をさらに充実したものとするために各世代の代表者を招いて若者定住促進懇談会を開いています。

懇談会がめざすもの

町では、若者定住促進対策についての諮問機関として「若者定住促進懇談会」を設置しています。この懇談会は平成元年に設置されましたが、その課題は重く、この施策が効果を上げれば町が抱える多くの問題を解決に導ける重要な施策のひとつです。

昨年11月に委員12名が一新され、それ以後懇談会の開催は6回にのぼり、時には夜9時を過ぎても意見が交わされるなど活発な議論が展開されています。今後は、委員のみならず町民多くの意見を町政に反映させ

たいという思いから、町民アンケートや先進地研修なども企画されています。

委員の思い

懇談会では、様々な立場の委員が若者定住事業について活発な意見交換をしています。懇談会の副委員長も務め、自らも経営者である滝沢康成さん（横田）は、U・Iターン者を積極的に採用しています。そして、「人口の減少、過疎化に悩む我が金山町では、若者定住促進懇談会を頻繁に開催しています。委員による定期懇談会、研修、アンケート調査、若者との意見交換会などを参考に現行施策を

改革していきたいと思っています。若者が住みやすい町を創るためには、住居、就職、子育て支援などの課題がたくさんありますが、素晴らしい自然環境の中にある金山町を、どの様にしたら若者が定住できるのか、町民の皆さんと一緒に真剣に考えていきたいと思っています」と熱い思いを語って下さいました。



若者向町営住宅かっこうハウス
（中川）

町の若者定住促進 ・子育て支援

町では、これまで若者が暮らしやすい町づくりを進めるためにさまざまな事業や支援をしています。ここでは主なものを紹介します。

【奨励金・祝金】

対象者：町に住所があり、各種奨励事業の適用を受けようとする年の4月1日現在の年齢が16歳以上、40歳未満の方で、引き続き町内に居住する意思のある方。

◎工場等就労奨励金

新たに町内や近隣の町村などの事業所に就職し町内から通勤する方に対して、就職支度金として10万円を支給します。

◎結婚祝金

結婚をしたカップルに対して5万円の祝い金を支給します。

◎出産祝金

子どもが産まれた場合に、第1子、第2子は10万円、第3子以上の場合については、20万円の祝金を支給します。

◎居室整備事業

住宅の新築、または今の住まいの増改築などをするために融資を受けた場合、その利子の一部について、5年間50万円を上限として補給します。

問い合わせ・・・政策財政係

電話 54-5222

【住 宅】

◎定住促進町営住宅（川口）木造2階建（長屋タイプ）1戸 2世帯

入居資格：申請時に金山町に住民登録又は居住の事実がない者。入居期間は原則3年間。

◎若者向町営住宅（横田）木造2階建 2棟 4世帯

入居資格：入居しようとする年の4月1日現在の年齢が16歳以上、45歳以下の者。

◎若者向町営住宅（中川かっこうハウス）集合住宅 6世帯

入居資格：入居しようとする年の4月1日現在の年齢が16歳以上、45歳以下の者。

問い合わせ・・・建設係

電話 54-5311

【子育て支援】

◎小中学生の医療費全額補助

◎小中学生のインフルエンザ予防接種助成

◎スーパーキッズ＜運動能力の向上＞（対象：小中学生・月1回）

◎乳児相談 など

問い合わせ・・・保健医療係

電話 54-5135

元気に長生き 渡部マサノさん賀寿贈呈式



ご家族と一緒に記念撮影

渡部マサノさん（本名）の百歳賀寿の贈呈式が5月16日、自宅で行われ浅沼正人会津保健福祉事務所健康福祉課長、長谷川律夫町長、長谷川浩一町老人クラブ連合会長、雪下昭一本名老人クラブ会長が賀寿や記念品、祝金を贈りました。

マサノさんは長寿の秘けつとして「暴飲・暴食はしない。家族が仲良しであること」と話しました。また、大相撲中継を見ることが大好きで、耳が遠くなった今でも大相撲の字幕放送を見るのがなよりの楽しみだそうです。

地域の人たちも参加しました 金山小学校大運動会

3年生の中丸^{あやね}采音さんが考えた「どこまでも全力つくしてチャレンジだ」をスローガンとし、5月21日に金山小学校大運動会が開かれました。

薄曇りのなか、その天候を吹き飛ばすかのよう^{あやね}に児童たちが大きな声を出し応援する姿や、最後まであきらめずに走り抜く姿が印象に残りました。また、児童の家族や地域の方々も参加して運動会は大いに盛り上がりしました。



たくさんの声援のなかを走りました



ピッタリ息のあった一輪車の演技

おばあちゃんたちに教わりました 白寿学級が川口保育所を訪問



上手にできたかな？

5月18日、白寿学級生と川口保育所の子どもたちが折り紙とあやとりをして交流しました。

なかでも、あやとりをやるのは初めてだという子どもたちも多く、最初は戸惑っているようでしたが、おばあちゃんたちの丁寧な教え方で徐々にうまくできるようになっていきました。

楽しいひとときは瞬く間に過ぎ、最後に子どもたちは「おばあちゃん、また来てくださいね！」と元気にあいさつをしました。

みんなで支えあいながら 横田小・横田地域合同運動会

6月4日、晴天のもと横田小学校代表委員会が考えた「優勝へ!! 本気を出して がんばろ!!」をテーマとして、横田小・横田地域合同運動会が開催されました。

児童を代表して滝沢智宏君（上横田）が「横田の青空に歓声や拍手が響き渡るように頑張りたい」とあいさつしました。

地域の人たちも運営に参加するこの運動会は横田地区の行事として地区の人たちから親しまれています。親子が一緒になって出場する競技や、高齢者向けの競技も行われ、参加者はまるで子どもの頃に返ったような無邪気な笑顔を浮かべて競技を楽しんでいました。



力を合わせた綱引き

地域の人たちが参加したムカデ競争



親子で頑張りました

ぬかるみと格闘 横田小学校の田植え教室



丁寧に苗を植える児童たち

5月26日、横田小学校では渡部宏昭さん（大塩）を指導者として迎え、田植え教室が行われました。昨年田植えを経験した2年生以上は手慣れた様子で苗を植えていましたが、1年生は初めて体験する子どもたちが多く田んぼのぬかるみに手こずっていました。

1時間に渡る作業で、子どもたちもお米を育てることの苦労を肌で感じたようでした。出来上がった米は11月5日に催される「横小まつり」でお餅となって地域の方々に振る舞われることになっています。

秋の収穫が楽しみ 川口・横田保育所がサツマイモの苗植え

5月27日、三島町にある五十嵐七重さん（沼沢出身）の農園では川口・横田両保育所の子どもたちがサツマイモの苗植えをしました。最初に五十嵐さんから苗の植え方を教わり、みんなで畑の中に入って行きました。

400本もの苗が用意されましたが、子どもたちは暑い日差しのもと、手を泥だらけにしながらも楽しそうに作業を行っていました。

出来あがったサツマイモは保育所の給食として調理されることになっています。



慎重に水をそそぎます

幻の苗を植えました 横田太郎さんの田植え



作業を見守る佐藤さん(左)・苗を植える横田さん(中央)と奥会津金山大自然の遠藤さん(右)

6月初旬、横田太郎さん（横田）の水田では酒米として使われる「フクノハナ」の田植えをしました。この日は末廣酒造杜氏の佐藤壽一さん（沼沢）も訪れていました。佐藤さんは「フクノハナは昭和40年代までは会津地方でも栽培されていたが、管理が難しいためその後衰退した」と話しました。

フクノハナの水田はコシヒカリなど他の品種の水田とは離れた場所にあります。それは他の品種と交配してしまうことで、品質が変異するのを防ぐためです。なお、フクノハナを原料に使ったお酒は末廣酒造で観光客に配られています。

たくさんの人たちが集まりました 2011秋じゃないけど収穫祭



町の特産品が並びました

6月4日・5日にかけて、神奈川県横浜市の日本大通りなどで開催された「2011秋じゃないけど収穫祭」に金山町が参加しました。地球環境イベントの一環として催されたイベントですが、今年は東日本大震災の復興支援という位置づけもあり当町も参加することになりました。

会場全体としては10万人を超える人出となり、エゴマ油や天然の炭酸水、大源流米が並んだ当町のテントにも多数のお客様が来店し好評を博していました。

山頂の素晴らしい景色を堪能 御神楽岳山開き

6月5日、うす曇りのなか御神楽岳山開きが行われました。震災や原発事故の影響で参加者の減少が心配されましたが、参加者は約150名と県内外から多くの方が訪れました。

参加者のなかには初めて御神楽岳に登る人もおり、急勾配がながく続く登山道に絶句していましたが、山頂での素晴らしい景色で全ての苦労が報われたと感慨深げに話していました。また、山頂で食べるおにぎりがとてもおいしいという子ども達もいて、参加者全員が山登りを満喫していました。



山頂でほっと一息



残雪の上を慎重に進む参加者たち



絶景の中を歩きます

お知らせ

今月の納税

●町
●保

県民税
教育料

1期
5月分

納期限は

6月30日
です

納め忘れに
ご注意ください

募集

若者向町営住宅の 入居者募集

町では、次の町営住宅の入居者を募集しています。

【かつこうハウス】

場所 中川字上居平

募集戸数 一戸

住宅の種類 2LDK

家賃月額 二万五千元

このほかに共同施設（合併処理浄化槽）の経費負担金（月額四千円位）がかかります。

敷金 七万五千元

（家賃の三ヶ月分）

入居資格

町内に住居または、勤務場所を有し（見込み者も含む）入居しようとする年の四月一日現在の年齢が十六歳以上、四十五歳以下の者で、引き続き将来とも金山町に居住する見込みの者。

募集締切

空きが埋まるまで随時募集しています。

※毎月15日に締め切ります。

案内

戸別所得補償の申請

平成23年度から食料自給率向上・農業経営安定を目的とした農業者戸別所得補償制度が本格実施されます。

水田に1反1畝以上の水稻の作付けのある方で米の販売をされている方・水稻共済に加入されている方のほか、畑作物や転作作物等で販売実績のある農家の方も作物や面積次第で対象となる場合がありますので、ご不明な点等があれば事務局までご相談ください。

なお申請書の受付期間は、6月30日までとなっています。

◎問い合わせ：農林振興係

視覚障がい者相談会

福島県障がい者総合福祉センターでは、視覚に障がいのある方や見えにくいことで日常生活に不自由を感じている方、そのご家族を対象に相談会を開催いたします。

なお、相談会に参加を希望する方は役場住民福祉係までご連絡下さい。

日時・場所

7月7日（木）

午後1時～午後3時30分

場所

南会津町南郷総合支所

◎問い合わせ：住民福祉係

☎54-5131

ご寄付に感謝

ふるさと応援寄付金

●千葉県佐倉市の金澤豊さんから3万円

広報送付に対して

●東京金山会から10万円

●埼玉県羽生市の増田健治さんから1万円

●会津若松市の加藤廣さんから1万円

ご寄付は広報紙面の充実に活用させていただきます

振り子時計寄贈

東京都在住の佐々木和雄さん（写真右）より振り子時計が寄贈されました。時計は開発センターロビーに設置しています。



寄贈された振り子時計

これからの予定

★6月★

17日（金）

総合健診

午前8時～ 町民体育館

子宮がん検診

午後1時～ 大塩体育館

18日（土）

総合検診

午前8時～ 町民体育館

23日（木）

スーパークィズ

（中1～中3年生）
午後7時～ 町民体育館

24日（金）

膝腰痛予防教室

午前9時30分～

ゆうゆう館

26日（日）

金山町防災訓練

午前9時～ 本名地区

★7月★

5日（火）

金山町農業委員会委員
一般選挙 告示

7日（木）

行政相談

午前10時～ 金山町役場

リハビリ教室

午前9時～ ゆうゆう館

12日（火）

スーパークィズ

（中1～中3年生）
午後7時～ 町民体育館

<住民税の納付について>

○住民税の全納割引制度

住民税は年4回に分けて納めることになっていますが、全期分を第1期の納期限までに納めると年税額が割引になります。

年税額2万8千円以上の方が対象です。(年金特徴者を除く)第1期の納期限は6月30日です。

○住民税の年金天引(特別徴収)が平成23年10月から始まります

地方税法の改正に伴い、個人住民税の公的年金からの天引き(特別徴収)が平成23年10月から始まります。対象者は、該当年度の4月1日現在65歳以上の公的年金受給者で、前年中の年金所得に係る住民税の納税義務のある方です。ただし、次の方は対象になりません。

- ①介護保険料が年金から天引きされていない方
- ②老齢基礎年金等の受給額が18万円未満の方
- ③天引きされる住民税が老齢基礎年金等の支給額を超える方等

※ 住民税の年金からの天引き(特別徴収制度)は、納税の方法を変更するもので、新たな税負担は生じません。

なお、他の給与所得や事業所得等に係る住民税は、今までどおりの方法で納めることになります。

◎問い合わせ…税務係

☎54-5121

<東日本大震災により被害を受けられた方へ>

東日本大震災により被害を受けられた方は、地方税の軽減措置等を受けられます。軽減を受けるためには、手続きが必要となる場合がありますので、詳細については税務係にお問い合わせください。

○個人住民税の軽減措置

住宅・家財・自家用車などに損害を受けた方は、雑損控除の適用を受けることにより個人住民税の軽減を受けることができます。

○固定資産税の軽減措置

滅失・損耗した住宅の敷地についても、引き続き住宅用地として固定資産税の軽減措置を受けることができます。また、滅失・損壊した家屋の買い替えなどをされた方も軽減措置を受けることができます。

○軽自動車税の非課税措置

滅失・損壊した自動車・軽自動車に代わる軽自動車を取得した場合、平成25年度分までの軽自動車税が非課税となります。

なお、大震災により滅失・損壊した軽自動車には、軽自動車税は課されません。

◎問い合わせ…税務係

☎54-5121

<県税部からのお知らせ>

○申告・納付等の期限延長

平成23年3月11日以降に到来するすべての県税の申告・納付等の期限が延長されています。

○自動車税の定期課税の延期

平成23年度の自動車税の定期課税(例年5月課税・5月末納期限)が延期されています。延長する期間はあらためてお知らせします。

なお、延期している間に車検有効期間が満了する自動車については、平成22年度の納税証明書で車検を受けることができます。

○被災した家屋に代わる家屋等を取得した場合の不動産取得税の軽減措置

大震災により滅失・損壊した家屋(被災家屋)に代わる家屋を取得した場合、又は被災家屋の敷地に代わる家屋用の土地を取得した場合には、取得した家屋や土地が所在する都道府県の認定を受けることにより、それぞれ、被災家屋、被災家屋の敷地の面積分の不動産取得税は課されません。

○被災した自動車の代替自動車にかかる自動車取得税・自動車税の非課税

大震災により滅失・損壊した自動車の所有者の方が、その自動車の代わりの自動車(代替自動車)を平成23年3月11日から平成26年3月31日までの間に取得し、取得した代替自動車を主に定置する

都道府県の認定を受けた場合には、自動車取得税及び平成23年度から平成25年度までの各年度分の自動車税が非課税となります。

また、平成23年3月11日から現在までの間に、既に代替自動車を取得された方は、代替自動車を主に定置する都道府県に申請することにより、納付した自動車取得税の還付を受けることができます。

なお、大震災により滅失・損壊した自動車に係る自動車税及び原子力発電所事故に伴う避難地域等における自動車税等の取扱いについては、県において検討中であり、決まり次第お知らせします。

軽減措置等を受けるためには、手続きが必要となる場合がありますので、詳しい内容や手続、震災に関する県税の取扱いについてご質問がありましたら下記にお問い合わせください。

会津地方振興局県税部 課税第一課

☎0242-29-5254 不動産取得税

会津地方振興局県税部 課税第二課

☎0242-29-5261 自動車税・自動車取得税

会津地方振興局県税部 管理課

☎0242-29-5235 納税証明書

直売所に出荷予定の皆さんへ

農産物を販売する際にはJAS法により原産地名及び品目名を表示する必要があります。

詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ…会津農林事務所会津坂下農業普及所
☎0242-83-2112



節電のお願い



今夏は原発事故、火力発電所の被災の影響で電力が大幅に不足することが予想されます。

役場でも政府目標マイナス15%を目指し、**弱冷房・一部消灯**を実施しています。
皆様も節電にご協力をお願いします。

選挙のお知らせ

農業委員選挙が行われます

7月19日の任期満了に伴う、金山町農業委員一般選挙が行われます。定数は10人で任期は3年間です。

▶告示日 7月5日(火)

▶投票日 7月10日(日)

なお、説明会は6月23日(木)午前10時より役場にて行います。

◎問い合わせ…金山町選挙管理委員会
☎54-5215

宮下病院だより

新しい先生が着任しました♪

4月から、宮下病院に新しく「當重先生」「柏木先生」が着任しました。



新任医師紹介

内科

かしわぎ まさひと
柏木 真人 先生

(前任地 福島県立医科大学)

この4月より着任いたしました、柏木真人(かしわぎ まさひと)と申します。生まれは須賀川市で、高校までを過ごし、大学は自治医科大学に入学し、栃木で6年間を過ごしました。大学卒業後は、福島県立医科大学で2年間の初期研修を行い、ちょうどこの3月で研修を修了いたしました。研修最後の1ヶ月は外科で研修を行っていましたが、地震の当日はちょうど手術の最中であり、麻酔がかかり開腹された患者の前で部屋が大きく揺れる恐怖や、その後の断水、停電、物品の不足等、この1ヶ月で様々な経験をしたと感じています。多少の遅れはありましたが、私も無事宮下病院に赴任することができました。

至らない点は多々あると思いますが、皆様とともに歩んでゆけるよう日々努力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



新任医師紹介

内科・外科

とうじゅう かずや
當重 一也 先生

(前任地 県立南会津病院)

この度着任した當重(とうじゅう)といいます。出身は宮下病院から只見を抜けた先にある新潟県の長岡ですが、縁あって一昨年より福島県内で勤務しています。非常に珍しい名字とよく言われますが、どうぞよろしくお願いします。

私の専門は麻酔科ですが、当院では内科・外科幅広く診療して皆さんのお役に立ちたいと思っています。ところで、麻酔科のなかには「ペインクリニック」という痛みの治療を専門にする分野があり、内服薬や神経ブロック、東洋医学的アプローチ(漢方・鍼など)で患者さんの痛みを和らげる治療を行っています。

会津に住んで3年目になりますが、ようやく地域同士の位置関係がつかめてきました。最近カメラを始めましたので、今年は奥会津の四季を記録に残したいと思っています。よい撮影スポットがあったらぜひお教えください。

○二人の先生は金山町国保診療所の外来担当医としても勤務しています。

☆あたらしい本が入りました☆

一般向け 真夏の方程式

東野 圭吾 著（文藝春秋）

夏休みに美しい海辺の町にやってきた少年。そこで起きた事件は、事故か殺人か。少年は何をし、湯川は何に気づいてしまったのか。

児童向け 借りぐらしのアリエッティ

宮崎 駿 著（徳間書店）

人間に見られてはいけない。それが床下の小人たちの掟だった。小人の少女・アリエッティは、ある古い屋敷の床下で、両親とひっそりとくらしていました。人間たちの世界から、いろいろなものを「借り」ながら。ところがある日、アリエッティは人間の少年・翔にすがたを見られてしまいました。そして、ふたりはことばをかわすようになり……。

児童向け 怒らないこと／（サンガ）

昨今では、怒って当たり前、ややもすると怒らないと不甲斐ないとも言わなければなりません。ブツは、これに真っ向から反対します。怒ってよい理由などない。怒りは理不尽だ。怒る人は弱者だ。怒らない人は幸せを得る。人類史上もっとも賢明な人は、なぜ怒りを全面否定したのでしょうか。最初期の仏教であるテーラワダ仏教の長老が、その真意を平明に解き明かします。

◆図書館の利用状況（5月分）

月刊貸出冊数 92冊
（うち児童書 61冊）

県立図書館の本を紹介します。

- おふろだいすき
松岡 享子 著（福音館書店）
- おばけといっしょにおるすばん
むらい かよ 著（ポプラ社）
- 山菜の採り方・食べ方
瀬畑 雄三 監修（家の光協会）

～お一人様3冊まで、貸出期間は2週間です。土曜日でも利用できます～

◎問い合わせ 中央公民館
☎ 54-5360

あの人この人

5月届出（敬称略）

こんにちは赤ちゃん

今月は該当がありませんでした

お二人で幸せに

今月は該当がありませんでした

霊よ安らかに

星	庄 佐	（79歳）	土 倉
谷ヶ城	四 郎	（91歳）	玉 梨
大 友	三 良	（82歳）	板 下

※このコーナーに掲載を希望されない方は、届け出時に申し出て下さい。

金山町の人口（6月1日現在）

世 帯 数	1,134世帯	（- 2）
人 口	2,542人	（- 5）
男	1,192人	（- 5）
女	1,350人	（± 0）

※（ ）内は先月比 住民基本台帳から

診療所歯科だより



かむと痛い

市川公久 歯科医

以前に虫歯になった歯で神経を取って銀歯を被せた歯がかんだ時だけ痛くなるということがあります。



多くの場合神経を取らざるを得ない程に進行した虫歯だったわけですから根の先までばい菌が行っており、根の先に慢性的な病巣を作ることがあります。

この病巣は、普段体に抵抗力があるときには無症状ですが、発熱や極度の疲労、風邪をこじらせた時などには、体は炎症を起こせという命令がでるので、根の先にある慢性炎症部位はこれにより急性化して腫れぼったくなり結果として、かんだ時だけ痛いという症状がでます。通常は、抗生物質と鎮痛剤の投与で経過観察しますが、治まらぬとか悪化するような場合は一旦銀歯を外して再度根の治療をします。

あまりにも動揺が激しい歯で頻繁にこういった痛みを繰り返す場合は、抜歯することもあります。

◎問い合わせ 金山町国保診療所 ☎ 54-2031

交通安全の大切さを 呼びかけたい

木村 隆 巡査長



町の安全を守る木村巡査長

今月は5月に会津坂下警察署横田駐在所に着任した木村隆巡査長にお話を伺いました。

いわき市から金山町へ

「前任地はいわき市でした。喜多方市生まれの私としては異動先に会津地方を希望していましたので、金山町に異動と決まった時は正直嬉しい気持ちでした。3月11日の大震災以後も、いわき市ではかなり大きな余震が続きました。金山町に来了時に感じたことは震災の疲労を忘れさせてくれるのどかさでした」と木村さんは金山町の印象を話します。

お年寄りの交通安全

「私は前任地で交通安全対策を担当していました。金山町は高齢者の人口が多い地域なので特に高齢者の交通安全を呼びかけていきたいと思っています。高齢者の場合、体の反応がどうしても鈍くなる傾向があり、

それが原因で自動車事故が起きやすくなります。また道路を渡るときも横断歩道を渡らない、左右の確認をしないなどの不注意による事故も多いのです」と交通安全の大切さを話します。

金山町を楽しみたい

「喜多方市生まれなので、雪は全く心配していません。

冬は家族を連れて町のスキー場に行ってみたいと思っています。また美味しいものを食べるのが好きなので山菜やきのこ、蕎麦など地のものをいろいろ味わってみたいし、いくつか温泉もあると聞いたので、ぜひ入りに行きたいと思っています」と木村さんは話し、これからの生活を楽しみにしていました。



生涯学習のマスコット
マナビィくん

金山の歴史の世界へ

古文書入門講座開催します

金山町指定文化財である「中丸文書」と「大竹文書」を題材に古文書の読み方を学習します。先祖の暮らしぶりをのぞいてみませんか？
とき 平成23年7月7日
(木) 午前10時～正午
ところ 金山町開発センター
1階小会議室

講師 海老名俊雄先生
(三島町在住)
受講料 無料



スイーツ講座

番外編 パン作りに挑戦！

うっとうしい梅雨もパンを発酵させるには絶好の季節。初心者でも失敗なく作れるパンと発酵生地に具をのせてピザを作りましょう。
とき 平成23年7月3日
(日) 午前9時～11時半

ところ 開発センター
講師 五ノ井ミチ先生
(川口)
材料代 300円
申込み 6月末までに中央公民館にお申し込み下さい。
☎ 54-5360

生涯学習
だより

165